

期	Ⅲ 期 (9月・10月・11月・12月)	Ⅳ 期 (1月・2月・3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○友達といっしょに体を動かすことを好み、自分の目的を持ち、がんばろうとする気持ちの高まりを見ることができる。 ○生活経験が広がり、友達同士の会話も盛んで、言葉の表現が豊かになる。 ○好奇心や探究心が旺盛になり、身の回りの出来事や自然事象にふれ、変化に気づき感動したり、収穫を喜んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もうすぐ小学校入学という期待を持ちながら自分たちの遊びを楽しみ、年長児らしい意欲的な行動が取れるようになっていく。 ○自分たちで生活や活動の見通しが持てるようになる。 ○物事に積極的に取り組み、グループ同士で交流しそれぞれ友達と相談したり工夫したりして、活動をより楽しいものに発展させるようになる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの気持ちや考えを理解して、受け止め、子どもの力が発揮できる活動ができるようにする。 ○戸外で体を十分に動かし、友達と共に遊びや生活をする楽しさを味わう。 ○身近な自然や事象を見たり、聞いたりして考えたり、感動したりすることを楽しむ。 ○異年齢の友達とかかわり、相手の気持ちを受け入れて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの就学への期待や不安を受け止め、充実した生活を送ることができるようにする。 ○ひとりひとりが自分らしさを大切にし、互いを認め合い遊びや生活を進め充実する。 ○自分の思いや感じたことを豊かに表現し、いろいろな活動に取り組み成長を喜び合う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○気温の変化に応じて、温度調節や換気に配慮し、安全で快適に過ごすことができるようにする。 ○友達といっしょにという気持ちが高まる中で、葛藤や欲求を理解し、共感したり、励ましたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの健康状態を把握し、異常を感じたときは適切な対応をするとともに、子ども自身から訴えることができるようにする。 ○生活に必要な習慣や態度などが身につく、自信を持って生活ができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○体と食べ物の関係に興味を持って、友達と楽しく食事をする。 ○戸外遊びに意欲的に取り組み、友達といっしょに遊びを発展させる。 ○病気の予防に関心を持ち、健康な生活に必要な生活習慣を身につけ、すすんで生活の決まりを守る。 ●グループの友達と役割を分担したり、力を合わせたりして遊びや生活を進める。 ●遊びの進め方を友達と話し合い、協力して進める。 ●身近な人々とふれあうことを楽しむ。 ○さまざまな用具、遊具を知り、遊びに生かす。 ○季節の変化に気づく。自然体験で自然の美しさ・厳しさを知る。 ●考えたことや思いを人にわかるように話す。 ○身近な生活の中で、想像を巡らせ、話したり、絵に描いたり、遊びに取り入れたいりする。 ○さまざまな音色やリズムの違いを知り、友達といっしょに歌ったり、楽器を弾いたりして楽しむ。(メロディオン・打楽器) ●進んで聖書を開き、学んだ暗唱聖句を振り返る。 ●降誕劇を通して、イエス様の誕生の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体と食べ物の関係を知り、何でも食べようとする。 ○寒い時期の健康的な生活に必要な生活習慣を身につけ、自分から進んで生活や行動にけじめを持つ。 ●クラスやグループの中で役割を受け持ち、目的を持って遊びや生活を進める。 ●異年齢の友達とのかかわりを深め、就学に向けても自信を持つ。 ●自分の目標に向かって努力し、積極的にさまざまな運動や遊びをする。 ○冬の事象に興味を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物のようすから春の訪れに気づいたりする。 ○自分たちの生活の場を皆で協力して作り出し、使いやすくしたり、整えたりする。 ●感じたこと、想像したこと、感動したことなどを伝え合う。 ●簡単な文字や数、量、図形などに関心を持ち、日常生活に取り入れて使う。 ●友達との対話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地良さを味わう。 ○素材や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱う。 ○音楽に親しみ、感じたこと、考えたことを音や動きで表現する。 ○生活の中で、リズムカルな言葉をつかったり、言葉の楽しさや美しさに気づいたりする。 ●自分の感じたことをお祈りの中で表現することができる。 ●神さまの愛と恵みを知り、これまで守られたことに感謝する。
援助配慮環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら場面や機会をとらえ、子どもたちに必要に応じて伝えたり、クラスで考えたりする。 ○目的に向かって、考えたり工夫したりして充実感が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達やクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取り上げたり、協同的に遊ぶことの楽しさや充実感が味わえるような機会を設ける。 ○冬の自然とふれあえるチャンスを大切にし、試したり、発見したり考えたりする楽しさを十分に経験し、科学性を培える環境を工夫する。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな行事を通して、子どもたちがたくましく成長している姿を保護者と共に実感し、喜び合う。 ○見えるところばかりでなく、見えない育ちを認め喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○初めての入学を迎える保護者の不安がなくなるよう、子どもの成長を伝え、また学校の具体的なようすや、どんな準備をしたらよいかを知らせる機会を懇談会などを利用して設定する。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会 ○ふれ合い消防広場 ○勤労感謝(消防・警察署訪問) ○秋の教育講演会 ○クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との交流を図り、入学への期待感を膨らませる。 ○三育小学校へ体験入学。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体に関心を持ち、健康のためには、いろんな食品が必要なことを知る。 ○給食調理をしている人がいることに関心を示し、感謝する気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく食事をするには、必要な決まりがあることに気づき、守ろうとする。 ○食事が楽しくなるような環境を工夫し、おいしく食べる。